



「移住者」に関するデータ

※ここでいう「移住者数」は、移住相談窓口などを通じて移住した人や町の移住支援施策などを利用して移住した人の人数をカウントしています。

	相談者数	移住者数
令和元年	83 人	8 人
2年	133 人	23 人
3年	54 人	17 人
4年	54 人	17 人
5年	78 人	20 人
合計	402 人	85 人

移住者のうち20～40歳代(令和元～5年度)

60人 / 85人 (70.1%)
 移住者の約7割を若者や子育て世代が占めています。

移住者のうちUターン者数(令和元～5年度)

12人 / 85人 (14.1%)
 住宅の新築や中古住宅の取得を機にUターンする人が多いようです。

移住者の転入元(前居住地)(令和元～5年度)

会津管内	22.3%	宮城・新潟	11.8%
福島県内	15.3%	関東(東京・埼玉除く)	9.4%
東京都	15.3%	その他	11.8%
埼玉県	14.1%		

自分らしい暮らし
にしあいつ暮らし

町では、移住(Uターン含む)・定住の促進に向け、専門部署として商工観光課内に「西会津のある暮らし相談室」を令和5年度より設置しています。
 今月号では、近年の移住者などに関するデータや移住関連支援策、実際に町に移住した人のインタビューなどを紹介します。

—西会津のある暮らし相談室—

宝島社『田舎暮らしの本』(2024年2月号)の「住みたい田舎ベストランキング」【人口1万人未満の町・若者世代・単身者部門】で、参加92自治体中、西会津町が**第5位**にランクインしました!

これは、町の移住支援策をはじめ、医療や子育て、自然環境、就労支援など278項目ものアンケート結果に基づくランキングです。

宝島社『田舎暮らしの本』(2024年2月号)の「住みたい田舎ベストランキング」【人口1万人未満の町・若者世代・単身者部門】で、参加92自治体中、西会津町が**第5位**にランクインしました!

これは、町の移住支援策をはじめ、医療や子育て、自然環境、就労支援など278項目ものアンケート結果に基づくランキングです。

その他関連データ

地域おこし協力隊
 (平成25年度～)

総受入れ人数 (H25～累計) **40人**
 現役隊員数 (R6.5.1現在) **9人**
 退任者31人のうち定住者 **17人**
 ⇒定住率 **54.8%**

お試し移住住宅「Otame」
 (平成29年度～)

利用者数(累計) **43組 72人**
 うち移住者数 **11組 17人**

「Otame」は、移住を検討している人が実際に西会津を訪れ、仕事や生活体験をする際に利用できる施設。

Interview

西会津町に移住した人のうちIターン*の人と、Uターンの人、それぞれ1人ずつにインタビューしました。
*出身地とは別の地域に移住すること



いちご あきこ
市古 晶子さん (Iターン)

○前居住地：東京 ○現在の勤務先：西会津国際芸術村／やまあみ鞆製作所
前職の先輩が地域おこし協力隊になったことが縁で町を知り、移住に繋がりました。地域が狭いが故の話の広がりへの戸惑いや慣れない雪国暮らしの不安はまだありますが、自然（星の多さ、風景、香りなど）を目いっぱい感じられることや、人の輪が広がったことは移住して良かったと感じています。積極的に地域に関わっていくことが暮らしやすさに繋がるのではと思います。



はた たくと
秦 拓人さん (Uターン)

○前居住地：東京 ○現在の勤務先：にしあいつ観光交流協会
都会での生活にストレスを感じるようになり、Uターンを決めました。商業施設や娯楽施設は少ないですが、都会に住んでいる時より不思議と生活の幅が広がった気がします。町を離れた期間や経験を経て、以前住んでいた時には感じる事ができなかった町の価値や変化を感じる体験に溢れています。同じ境遇（Uターン）の人たちと「帰ってきてよかった」を共有したいです。

西会津のある暮らし相談室では、移住に関することや空き家の利活用に関する相談を随時受け付けています。「にぎわい番所ぷらっと」（野沢原町）でも受け付けていますので、気軽に相談ください。



◆西会津のある暮らし相談室

〈事務室〉町役場商工観光課内

☎ 45-2213

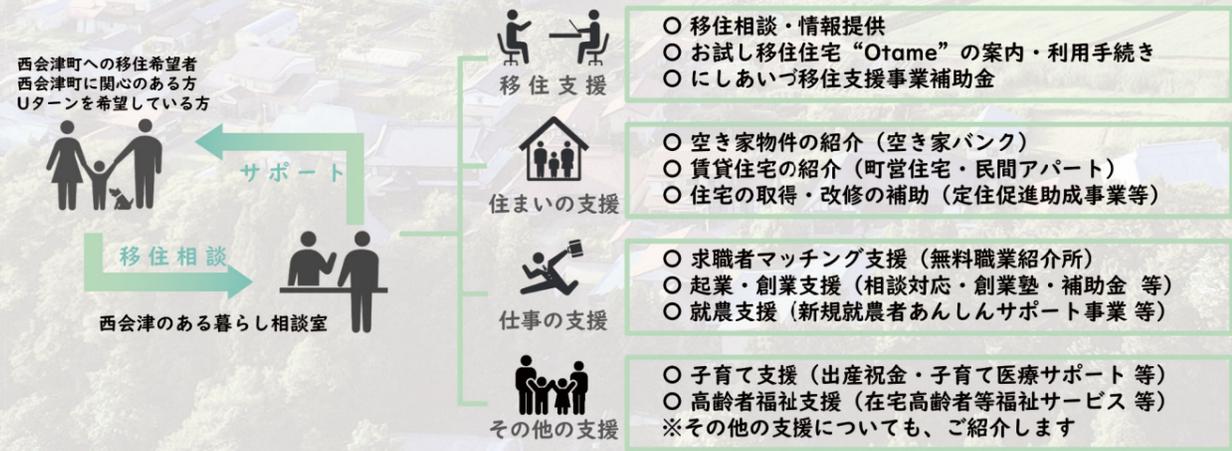
メール iju@town.nishiaizu.fukushima.jp

〈分室〉にぎわい番所ぷらっと

☎ 45-2071

メール nishiaizu.iju@gmail.com

▲移住に関する情報や支援制度に関する情報は「移住ナビ」でも確認できます。



西会津町の主な移住支援制度

※補助金や支援を受けるためには各種条件を満たす必要があります。**必ず事前**に問い合わせください。

移住前の人 (移住体験・リサーチ)	レンタカー代等補助 移住希望者が町を訪れる際のレンタカー、シェアカーなどの利用料に対して補助します。 補助額：最大5,000円/日（最大3日分）	交通費補助 ※県補助 移住希望者が町を訪れる際の電車やバスなどの運賃、高速道路利用料に対して補助します。 補助額：出発地により異なります。
	お試し移住住宅「Otame（オタメ）」 移住希望者が暮らし体験をするために利用できる宿泊体験施設です。（1戸建て住宅） 利用料：15,000円/月	にしあいつ暮らしサポーター 町への移住をより身近に感じてもらえるよう、町民による移住相談や現地案内、移住後の生活サポートなどを行います。
住まい (空き家の取得)	空き家バンク 町で公式に空き家を紹介します。相談は無料です。実際の売買契約などについては専門業者が媒介します。	来て「にしあいつ」住宅取得支援事業 移住者が空き家などを取得する経費に対して補助します。※補助条件は事前に必ずご確認ください。 補助額：加算措置含め最大150万円
	住まい (住宅の新築)	来て「にしあいつ」住宅支援取得事業 移住者が住宅を新築する経費に対して補助します。※補助条件は事前に必ずご確認ください。 補助額：加算措置含め最大200万円
住まい (改修・その他)	移住促進改修費補助金 移住者が住宅を改修する経費に対して補助します。※補助条件は事前に必ずご確認ください。 補助額：加算措置を含め最大50万円	注）住宅の新築、中古住宅（空き家など）の取得、住宅の改修については移住者だけでなく、町内に住む45歳以下の人向けの補助金もあります。補助条件など詳しくは問い合わせください。
	東京圏から移住した人	にしあいつ移住支援金 東京圏からの移住者に対して支援金を支給します。※支給を受けるには条件があります。 補助額：単身世帯60万円、2人以上世帯100万円+子ども1人につき100万円加算
しごと	地域おこし協力隊 さまざまな分野で地域おこし活動などを行いながら、町への定住を図る取り組みです。町ではこれまで40人の隊員を受け入れています。	協同組合マルチワークスにしあいつ 季節ごとにさまざまな仕事に従事する「マルチワーク」の仕組みで、理想のライフスタイルに合わせた働き方ができるかもしれません。
	テレワーク パソコン1台あれば、田舎に住みながら転職せずに都会での仕事ができる環境が整っています。「にぎわい番所ぷらっと」をご利用ください。	無料職業紹介 町で運営する無料職業紹介所では、求人者と求職者の雇用関係の成立を斡旋します。求人情報もお寄せください。
	創業支援 町内での起業に向け、インキュベーションマネージャーによる個別相談受付や創業塾の開催など、チャレンジをサポートします。	空き店舗及び空き家利活用補助金 空き家や空き店舗などを活用して起業する人を支援します。 補助額：補助対象経費の2/3（最大100万円）